

重点課題の進捗状況(平成26年2月現在)

	達成に向けた市の施策	実施状況			備考
		検討開始時期	着手前	検討中	
○体制整備	1. ごみの見える化	短期	○		<p>≪平成25年7月≫ 平成24年10月から実施した宇治市の状況を確認した。 ・10～3月の家庭ごみの総収集量は前年比5.47%減少した。内訳では資源ごみが3.57%増加。 ・透明の基準(どの程度の半透明までがOKか)が曖昧なため、説明には苦慮した。</p> <p>≪平成26年2月≫ ・現在、年度途中であるため家庭ごみ総収集量と資源ごみ増加率の状況を観察中です。</p>
	2. 拠点回収の拡充	短期		○	<p>≪平成25年7月≫ 紙バック拠点回収を市役所入口で実施しているが、段ボール・新聞・雑誌・古繊維等、公共施設での回収を検討する。 【例】中央公民館、図書館、バンビオ等 【課題】回収ボックスの設置個所及び管理体制</p> <p>≪平成26年2月≫ ・設置場所における管理体制の問題等を含め、施設管理者と調整中。 ・市民からの依頼件数や資源ごみの種類を検証し、環境業務課敷地内において回収場所を検討中。</p>
	3. 福祉収集の検討	短期		○	<p>≪平成25年7月≫ 政令指定都市排出支援実施状況を調査 【課題】・実施する範囲の人数把握が必要 ・高齢介護課、障がい福祉課等との調整 ・先行市の事例を参考に調査、検討を行う</p> <p>≪平成26年2月≫ 先行市の対象者要件事例を参考に高齢介護課、障がい福祉課と協議し人数の抽出を実施いたしました。 【要件】自らがごみステーションまで持ち出すことが困難な方で、次の要件に該当する高齢者もしくは障がい者を対象とする。ただし、地域や身近な人等の協力によりごみの持ち出しが可能な人は除く。 ①高齢者 ・おおむね65歳以上の一人暮らしの方。 ・介護保険のホームヘルプサービスを利用している方。 ②障がい者 ・一人暮らしの方。 ・身体障がい者(難病患者を含む)、知的障がい者及び精神障がい者の制度でホームヘルプサービスを利用している方。【結果】高齢者192名 障がい者48名 合計240名</p>
	4. 分別区分の検討	短期		○	<p>≪平成25年7月≫ 乙訓環境衛生組合の処理施設の形態に合わせ、平成26年度にカン類の分別区分を一本化する。 【課題】エコタウン実施地区では、アルミカン売却の関係でアルミ・スチールに一本化以降も別に収集容器をセットする必要があるため、実施団体の地域との調整必要。</p> <p>≪平成26年2月≫ 循環型社会のさらなる構築を目指すため、今までと同じ分別方法で収集する。</p>
	5. 事業系生ごみリサイクルシステム古紙回収システムの構築	短期		○	<p>≪平成25年7月≫ ・生ごみリサイクルシステムは着手前 ・許可業者に古紙回収システムの提案を依頼中。提案を基に、モデル地域での実施を図る。 【課題】モデル地域の抽出・許可業者の問題</p> <p>≪平成26年2月≫ モデル的に許可業者収集運搬地区にて古紙回収システムを実施しており、今後は回収品目における回収量の把握を検討中。</p>
○指導	1. 幼児からの環境教育の推進	短期		○	<p>≪平成25年7月≫ 8月～10月頃に市内保育所を対象に紙芝居等を利用して出前講座を実施する。</p> <p>≪平成26年2月≫ 12月～1月において市内5か所の保育所を対象に「ポイ捨て」「分別」「リサイクル」をテーマに出前講座を実施(別紙1参照)。※来年度以降も実施予定。</p>
○助成制度	1. 表彰制度の実施	短期		○	<p>≪平成25年7月≫ ごみ減量・リサイクル実践活動等の拡大を目指して、個人・団体・事業者の活動内容を表彰する制度を実施する。【例】長岡京市廃棄物減量等推進員への表彰等</p> <p>≪平成26年2月≫ 11月16日(土)環境フェアにて、長岡京市廃棄物減量等推進員会議設立10周年を記念して表彰式を実施し、個人の部43名・団体の部7団体に表彰を行った。</p>